

## 編集後記 「お互いさま」の時代



アヴェニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail [avenir4you@gmail.com](mailto:avenir4you@gmail.com)



ケガだけは  
せんといてね

月日の流れは早いもの。特に子どもの成長にそれを感じます。  
いや我が家ではありません。それはマンションの上の階の子ども

たち。以前は走っているなーと思ってもあまり感じなかったのですが、無事に元気に大きく(^\_^)育っているようです。上の階の方は僕と会うたび、「うるさくしてすみません」と謝ってくれます。

でも我が家も子育て時代は、かなり近所に迷惑をかけたという思いがあるので（その時のご近所さんとは当然別の方なのですが）、「お互いさま」という思いから「いえいえ、大丈夫ですよー」と言っています。

NHKの朝ドラ「ブギウギ」のモデルになった笠置シズ子さんとの思い出を黒柳徹子さんが話されていました。笠置さんが「買物ブギー」を歌うバックで、買物客のエキストラを演じた新人の黒柳さん。

何度も失敗してNGを連発。その都度ディレクターに怒鳴られていた時のこと。黒柳さんのせいで何度も歌い直すことになった大スター・笠置さんが、黒柳さんの方を振り向いて、てっきり叱ってくると思った瞬間にっこり笑って『大変でんな〜』って声をかけたのだそうです。(^^)

黒柳さんは「なんていい人なんだろう！」と、笠置さんのことがそれから大好きになったとのこと。

若い頃から苦労や失敗を重ねてきた笠置さんだからこそ、黒柳さんのことを慮れたのかもしれないね。



わてホンマに  
よ言わんわ

後ろの人  
買い過ぎ!

さて、政府はパートやアルバイトなど短時間勤務で働く人たちが育児休業給付・介護休業給付や失業給付などを受け取れるようにするため、**雇用保険の適用対象を、1週間の労働時間が「10時間以上」の人にまで拡大**することを盛り込んだ雇用保険法などの改正案を現在開会中の国会に提出しています。

いうまでもなく、少子高齢化にまつわる育児・介護の問題は未来を左右する国家的命題。

そして保険の基本は、「相互扶助」の考え方。それは「お互い」に「助ける」という意味です。

僕らは「**他人様（ひとさま）に迷惑をかけてはいけない**」と教えられて育ちました。

でも、とりわけ「育児」そして「介護」は別なのです。

病院、介護施設、市役所や地域包括ケアセンター等の行政機関、頼れるところは臆せず頼る。もちろん職場にも相談してください。

職場の上司も、自分のこれまでの価値観や経験則にこだわらないようにすることが大切です。

男が育休を取るなんて・・・と頭をよぎるかもしれませんが、いつか自分が親の介護に回ることがあるかもしれませんし、もしかすると将来自分が介護される側になるかもしれません。(>\_<)

職場の高齢化も待たなし。これからは、「**お互いさま**」の時代なのです。

「人間はいるだけでお互いに迷惑なんです。互いに迷惑をかけあって生きていと認識すべきだとぼくは思う。」

これは「君たちはどう生きるか」でアカデミー賞の長編アニメーション映画賞を受賞した宮崎駿監督の言葉。

いくら人に迷惑をかけないようにしようと思っても、しよせん僕は完璧な人間になてなれせん。

**迷惑をかけることを気に病むより、人に迷惑をかけて助けてもらった分を周りにお返ししていこう**

考える方が、チーム全体としても成長できるし、健全な社会にもなるように思います。

笑顔で包まれる日本の素敵な未来は、そんな「お互いさま」で成り立つのではないのでしょうか。(^^)



補い合える  
組織づくりを!

そういや昔、少年野球のコーチのお手伝いをしていた時も、過去に大きなエラーを経験した子どもほど、試合でエラーをした他の選手に「ドンマイ!」と大きな声をかけていたように思います。

悩んだ人ほど「お互いさま」の意識が自然に身につくのかもしれませんね。

ただ、エラーした本人が自分で「ドンマイ!」と言っていた時は、

ベンチのコーチ全員がズッコケましたけどネ。σ(^\_^)